お金でつまずかない教育を！

中学生から社会人までを対象に金融リテラシー向上コンソーシアムが提供する「金融経済教育セミナー」の取組について



日本貸金業協会　金融リテラシー向上コンソーシアム推進室

生活の管理と契約に関する領域

お金でつまずかない教育を！

中学生から社会人までを対象に金融リテラシー向上コンソーシアムが提供する「金融経済教育セミナー」の取組について

日本貸金業協会 金融リテラシー向上コンソーシアム推進室

金融リテラシー向上コンソーシアム「金融経済教育セミナー」：
https://www.j-fsa.or.jp/flic/

2023年６月、日本貸金業協会と大手貸金業者が協働して「金融リテラシー向上コンソーシアム」を設立しました。近年ますます巧妙化・多様化する金融トラブルから消費者を守るため、金融知識の普及やトラブル防止に向けたセミナーなどを展開しています。闇バイトや投資詐欺など、特に若年層を中心とした金融トラブルが増加するなか、普及啓発活動の特徴や効果的な訴求につなげるための工夫についてお話を伺いました。

貸金業界団体が消費者保護のために金融トラブル被害防止の出前講座を無料で実施

▶金融リテラシー向上コンソーシアムについて教えてください。

金融リテラシー向上コンソーシアムは、2023年６月、日本貸金業協会と大手貸金業者の協働により設立した団体です。金融リテラシーの向上による金融トラブル被害の防止を通じて、消費者保護に貢献することを目的としています。実際の活動は、「金融経済教育セミナーの実施」や「金融犯罪防止策の実施」を中心に進めています。

▶どのようなプログラムを実施していますか？

中学生から社会人までを主な対象とした「金融経済教育セミナー」を、学校や企業、各種団体に対して無償で実施しています。社会経験が少なく金融トラブルに巻き込まれやすい若年層を中心に、すでに社会人として働く方に対しても、お金に関する正しい知識を身につけてもらうことを目的としています。

また、当コンソーシアムのホームページでは、金融トラブル事例の動画やイラストを公開しています。さらに授業などで活用できるように、セミナー教材をご請求いただくこともできます。最適

な教材選びや、伝える時のポイントのレクチャーも行っています。

【金融経済教育セミナー】

　中学校におけるセミナーの様子です。セミナーは、全国の教育機関などを広く対象として、実施しています。





画像提供：日本貸金業協会　金融リテラシー向上コンソーシアム推進室

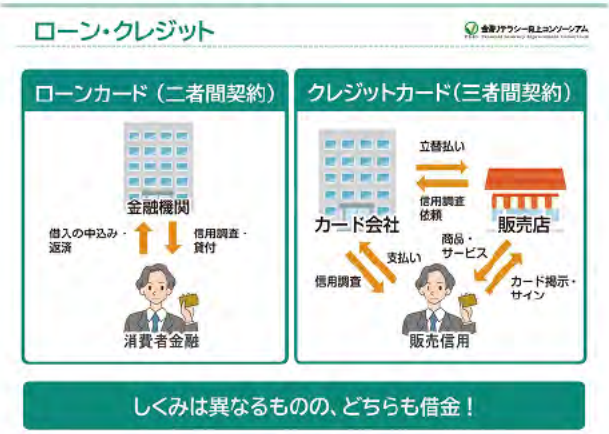
【金融経済教育セミナー教材】

　セミナーと連動するオリジナル教材を開発しました。次世代を担う若者が金融リテラシーを高め、将来にわたって健全な経済生活を送れるよう、多角的かつ時代に即した視点から学びを提供しています。例えば、ローンやクレジットなどの利用には注意を促しつつも、拡大するキャッシュレス決済についても解説しています。生活設計や家計管理を学ぶ講義では、ライフプランを踏まえ、お金の使い方や貯蓄の考え方を学習できるよう構成しているほか、日本貸金業協会が発行する「知って安心 金融トラブル防止のためのＱ＆Ａ BOOK 22の疑問」も無償で配布しています。

リンク

『知って安心 金融トラブル防止のためのＱ＆Ａ BOOK 22の疑問』：
https://www.j-fsa.or.jp/doc/personal/monetary_education/publications/qabook_2024_11.pdf

◆ローン・クレジット

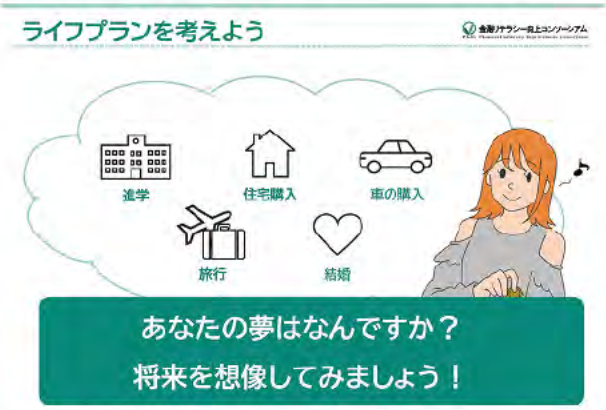


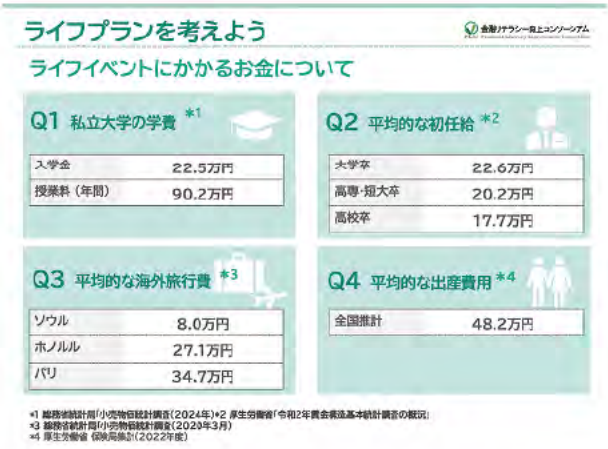


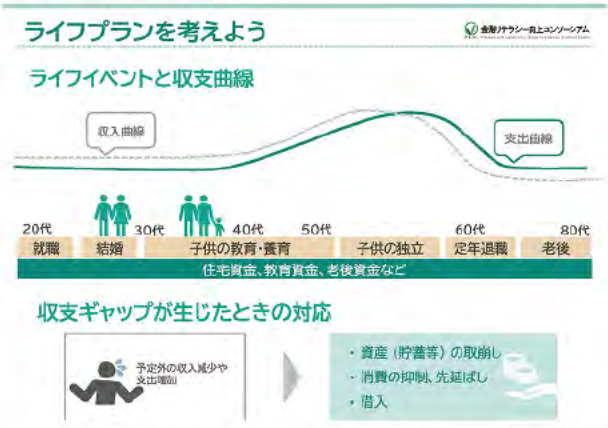


「講義資料（ローン・クレジット）」から抜粋

◆ライフプランを考えよう







「講義資料（生活設計・家計管理）」から抜粋

【動画教材「動画で学ぶ　金融トラブル事例」】

ドラマ仕立てのアニメーションで、表情豊かなキャラクターが、インターネットを介して被害の多い金融トラブル事例を再現しています。

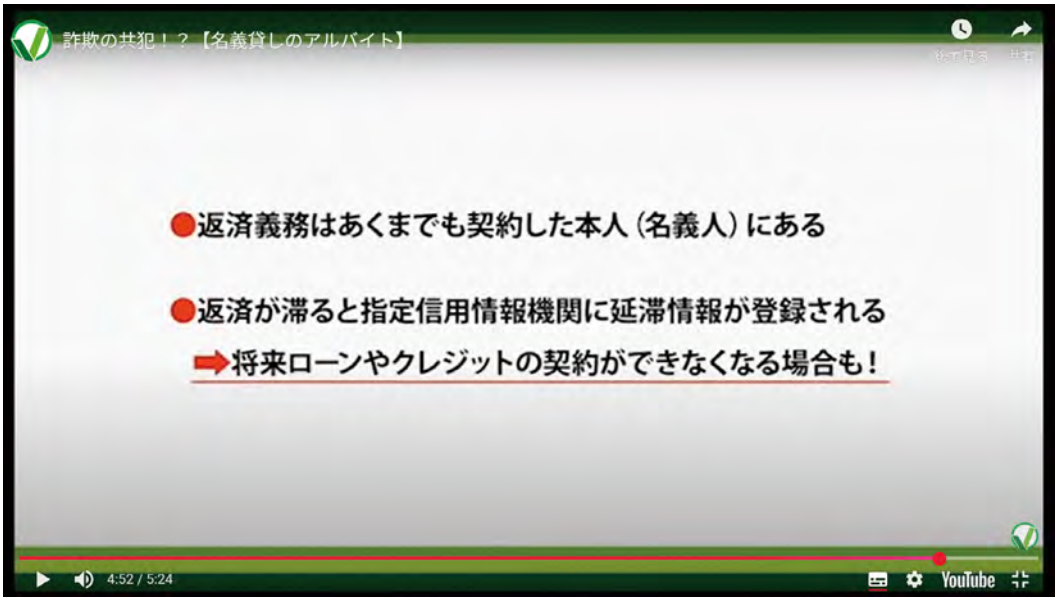
リンク

金融リテラシー向上コンソーシアム公式ウェブサイト「動画で学ぶ　金融トラブル事例」：

https://www.j-fsa.or.jp/flic/video-learning-trouble/







出典：日本貸金業協会公式チャンネル（YouTubeチャンネル）「詐欺の共犯!?【名義貸しのアルバイト】」（https://youtu.be/-lUnJlWnFsk?si=Vuy4ycpNxmDB4tZi）

【イラスト教材「イラストで学ぶ　金融トラブル事例」】

４コマ漫画により、動画よりも短時間で金融トラブル事例が学べるイラストを提供しています。

リンク

金融リテラシー向上コンソーシアム公式ウェブサイト「イラストで学ぶ　金融トラブル事例」：

https://www.j-fsa.or.jp/flic/illust-learning-trouble/



出典：金融リテラシー向上コンソーシアムホームページ
「イラストで学ぶ　金融トラブル事例」「融資保証金詐欺」「名義貸し」

▶「金融経済教育セミナー」について教えてください。

セミナーは共通のテキストをベースとし、受講者の年齢、属性、ニーズなどを踏まえて柔軟にアレンジしています。対面形式はもちろん、ご要望があればオンラインでの実施にも対応しています。

コンテンツは大きく３つに分かれています。多様化する金融詐欺への理解を深める「金融トラブル」、クレジットカードの機能や契約の重要性を学ぶ「ローン・クレジット」、生活費の管理やライフプランを考える「生活設計・家計管理」を用意しています。これらの内容は、当コンソーシアムが、協会や各社の知見を集め、学習指導要領の他、金融経済教育推進会議による「金融リテラシー・マップ」に準じて作成しました。

また、ご依頼者のニーズに応じてカスタマイズすることも可能です。たとえば、卒業前の高校生には、一人暮らしを考えてもらうきっかけとして、生活設計や家計管理などのワークの提案をすることもあります。さらに、金融経済教育推進機構（J-FLEC）や各都道府県の警察本部と協働し、より専門的な内容のセミナーを提供しております。

リンク

金融経済教育推進会議「金融リテラシー・マップ」：
https://www.shiruporuto.jp/public/document/container/literacy/pdf/map202306.pdf

▶講師はどのような方が務められますか？

大手４社が独自に行ってきた出前講座や啓発活動の講師が中心で、各社が認定した講師を当コンソーシアムで認定講師として登録しています。北は北海道から南は沖縄まで、どこでも派遣可能な体制を整えています。

▶実施の実績、受講者の属性などを教えてください。

2024年度は、全国30都道府県・82団体から要望をいただき、延べ１万317名の方が参加されました。受講者のうち半数近くが高校生、次いで専門学生や中学生が多くを占めています。対象学年を変え同じ学校からご依頼をいただくこともあり、成年年齢の引下げや学習指導要領の改訂といった背景から、社会に出る前の学生を対象とした金融教育へのニーズが高まっている結果と分析しています。

「金融経済教育セミナー」の特徴と工夫ポイント

POINT 1　事前の丁寧なヒアリング

セミナー実施にあたって大切にしているのは、ご依頼主の方に丁寧にヒアリングを行うことです。特に「受講者に何を学んでほしいのか」、「どのような背景でセミナー実施を検討されたのか」の２点は、より実効性の高いセミナーに不可欠なので、重点的にお話を聞くようにしています。受講者の傾向（内向的か活発かなど）や、また高校３年生であれば進学と就職のどちらが多いかなどもお尋ねし、セミナー中の生徒とのコミュニケーションや、進路に合わせた内容にするための参考としています。

内容について迷われている場合は、同じ学年に実施した過去のセミナーを共有したり、生徒さんからのトラブルの相談や先生が気になっていることを聞いたりして、より具体的なイメージを持てるようにすり合わせます。

POINT 2　クイズやワーク、動画などで受講者を飽きさせない

一方的な講義だけにならないよう、受講者が主体的に参加できるクイズやワーク、動画視聴を取り入れています。特に学校現場では、主体的な学びが推奨されていることもあり、双方向で受講者の興味を引くセミナーになるように、工夫を凝らしています。

その一環として、日本貸金業協会が制作した啓発動画を積極的に活用しています。日本貸金業協会は、認知心理学の知見を取り入れた消費者啓発に着目し、中央大学文学部心理学専攻の有賀敦紀教授及び同教授の研究室に所属する学生にご協力いただき、複数の啓発教材を制作しています。既存の啓発ツールについてもどのような見せ方をすれば消費者の注意を引くのか、「伝え方」や「伝わり方」に対する助言をいただき、ブラッシュアップしています。





2025年３月、日本貸金業協会は東京都と共同で有賀敦紀研究室（中央大学）の監修のもと、最新の詐欺の手口を学べる啓発動画を制作した。日常生活に潜む詐欺の巧妙な手口をリアルに再現している。

画像提供：日本貸金業協会

POINT ３　覆面調査で共通課題を明確化、講師のレベルアップを図る

講師は、もともと金融教育を教える側として実績がある者ばかりですが、レベルやスキルを一定に保つための工夫があります。昨年度の取組の一つとして、実際のセミナーにおいて、講師には伏せて調査員を派遣する覆面調査を行いました。覆面調査を行った結果、共通課題を明確化することができ、講師のスキルアップにおいて重要な役割を担っています。

▶セミナー申込者・受講生の声を教えてください。

【市立中学校教員の声】

近年増加する若年層の消費者トラブルやお金をめぐる犯罪を受け、生徒に対する早期の金融リテラシー教育の必要性を感じていました。本セミナーを選んだ理由は、教材の内容はもちろん、取り上げるトラブル事例などを学校側の要望を踏まえ変更・調整することができ、必要に応じて柔軟なカスタマイズが可能であることが挙げられます。また、本校の教育目標である「知育」（「学び合いの中で思考を深め広げる生徒を育てる」）や「徳育」（「社会的なスキルを身に付け、人間関係づくり能力を高める」）にも合致しており、教育方針との親和性が高いと考えました。加えて、公民や家庭科といった教科そのものとも関連しており、授業内容の一層の深まりにもつながる有意義な機

会となりました。当校で初開催となった本セミナーは中学２年生（59名）を対象に、総合的な学習の時間に実施しました。

【セミナー受講者の声】

・今まで、キャッシュレスについてよく理解していなかったが、支払方法ごとのメリットとデメリットがよく分かった。
・闇バイト、高収入バイトなど「知らないうちに自分が加害者となる」事例も多いことが分かった。
・もしトラブルに巻き込まれたら誰かに相談することを意識し、今日学んだことを友達や家族に伝えたい。
・将来、詐欺やトラブルにあわないように気をつけようと改めて思った。
・契約について知っているつもりだったが、意外と知らない部分があって、おもしろかった。
・お金の怖さを知り、うまく付き合う方法なども現実的で今すぐにでも実践できるためとても参考になった。

金融トラブルを組み込んだコンテンツで
さらに踏み込んだ啓発活動を模索

▶今後の活動の展望を教えてください。

今後さらに多様化する学びのスタイルに対応し、特に現代の学生にとって親しみやすい教材として、より効果的な教材の開発など、コンテンツの充実化を図りたいと考えております。

また、社会人の金融詐欺被害が増加している現状を踏まえ、新入社員研修など、若年社会人を対象とした教育機会の拡充にも取り組んでいく予定です。

▶消費者教育を担う先生方や、一般消費者の皆さんにメッセージをお願いします。

誰もお金と関わらずに生きていくことはできません。だからこそ、「お金でつまずかない」ことが大切です。お金について正しく学び、金融リテラシーを高めることで、トラブルや被害を回避できる力が養われます。ぜひ、当コンソーシアムのセミナーを通じて、正しいお金の知識を身につけてください。

▶ありがとうございました。

もっと知りたい方はこちら！

金融リテラシー向上コンソーシアム公式ウェブサイト：

https://www.j-fsa.or.jp/flic/

日本貸金業協会公式チャンネル（YouTubeチャンネル）：

https://youtube.com/@jfsa6929?si=rH5qv7awxG469fzy

セミナー教材のご請求（金融リテラシー向上コンソーシアム公式ウェブサイト内）：

https://www.j-fsa.or.jp/flic/application-provision-of-seminar-materials/

日本貸金業協会「成年年齢引き下げ対応若年者向け啓発ページ」：

https://www.j-fsa.or.jp/promotion

日本貸金業協会「若者を狙う悪質業者にご注意！」：

https://www.j-fsa.or.jp/topics/association/for_young.php